

# お 知 ら せ

平成26年 6月25日  
国土交通省中部地方整備局  
入札監視委員会第二部会事務局

## 中部地方整備局入札監視委員会第二部会が第1回定例会議を開催 — 審 議 概 要 公 表 —

中部地方整備局入札監視委員会第二部会の平成26年度第1回定例会議を6月17日、中部地方整備局にて開催しました。

第二部会第1回定例会議では、発注工事等の中から抽出した5件の事案に係る一般競争の参加資格の設定等について審議を行いました。

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験者等で構成する第三者機関です。

当該委員会では、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

以下、審議概要についてお知らせします。

### 1. 日時及び場所

日 時：平成26年6月17日（火）14時00分～16時00分

場 所：中部地方整備局（丸の内庁舎） 会議室

### 2. 審議概要

別紙のとおり

### 3. 配 布

中部地方整備局記者クラブ

名古屋港記者クラブ

港湾新聞

港湾空港タイムス

日本海事新聞

海事プレス

### 4. 問い合わせ先

中部地方整備局総務部

契約管理官 平野 道男

電話 052-209-6316(ダイヤルイン)

FAX 052-203-9738

## 別紙1

## 平成26年度 中部地方整備局 入札監視委員会第二部会

## 第1回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成26年6月17日(火) 中部地方整備局(丸の内庁舎)		
委員	[部会長] 横溝 大 (大学院教授) 北野 利一 (大学院准教授) 伊藤 倫文 (弁護士)		
審議対象期間	平成26年1月1日～平成26年3月31日		
抽出案件数	総件数 5 件	審議案件は別紙1-2のとおり	
入札・契約方式	件数	工事名等	
工 事	一般競争入札 (政府調達適用)	1 件	
	一般競争入札 (政府調達適用外)	1 件	
	工事希望型競争入札	0 件	
	通常指名競争入札	0 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等 一般競争入札	1 件		
建設コンサルタント業務等 公募型プロポーザル	1 件		
役務の提供等及び物品の製造等 一般競争入札	1 件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙1-3のとおり	別紙1-3のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	意見の具申又は勧告はなし。		

別紙 1-2 抽出案件一覧表  
【工事】

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事)

期間 平成26年1月1日～平成26年3月31日

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成25年度 四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区道路(霞4号幹線)橋梁(P15-17)下部工事	空港等土木工事	12	12	1月28日	前田建設工業(株)	925,452	89.4	

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

期間 平成26年1月1日～平成26年3月31日

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成25年度 三河港防波堤(北)本体及び根固工事	港湾土木工事	3	2	3月20日	神野建設(株)	115,560	98.4	

【建設コンサルタント業務等】

(一般競争入札方式)

期間 平成26年1月1日～平成26年3月31日

業務名	業種区分	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成25年度 津松阪港津地区(阿漕浦・御殿場)堤防基本設計	建設コンサルタント等	4	4	3月27日	ポートコンサルタント(株)	15,012	81.7	

(公募型プロポーザル方式)

期間 平成26年1月1日～平成26年3月31日

業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成25年度 名古屋港新土砂処分場漁業影響検討業務	建設コンサルタント等	2	2	2月3日	いであ・全国水産技術者協会設計共同体	556,200	98.0	

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式)

期間 平成26年1月1日～平成26年3月31日

業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成25年度 御前崎港浮棧橋修理	役務の提供等	1	1	1月22日	藤高造船(株)	8,925	99.0	

別紙1-3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1.報告事項についての審議概要		
報告事項		
項目	意見・質問	回答
①工事の入札方式別発注一覧 ②建設コンサルタント業務等の入札方式別発注一覧 ③役務及び物品の入札方式別発注一覧 ④指名停止措置等の運用状況 ⑤談合情報等 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦工事種別ごとの低入札価格調査対象工事の発生状況	なし	

2. 抽出案件の審議概要		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び地域性、事業種別毎を考慮したうえで無作為抽出したものである。		
抽出案件	意見・質問	回答
1. 一般競争入札(政府調達適用)		
平成25年度 四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区道路(霞4号幹線)橋梁(P15~P17)下部工事	入札価格について予定価格超過が1社と無効が4社、範囲内が7社とバラツキがある。入札価格は落札者と最低価格入札者が僅差であるが、加算点の違いについて説明をお願いする。	落札者については入札価格が最低価格入札者より高かったが、コンクリートの品質向上対策での評価が高かったため、評価値が上回りました。
	技術提案の評価点数で詳細は公表されているのか。	入札説明書では技術提案の1つにつき30点のみであり、内訳は示していません。
	施工体制点30点の付け方はどうなっているのか。また、施工体制確認型試行工事とあるが、どの工事が対象工事になるのか。	予定価格と調査基準価格の範囲内であれば施工体制に問題が無いとして30点を付与しています。試行の対象は1,000万円以上の工事を実施しています。
	施工体制ヒアリングの時期がなぜ開札後になるのか？	低入対策により実施するものであるので開札後になります。調査基準価格を下回った場合に資料を求め、提出があった場合に実施します。結果として今回の4社については辞退があったため、ヒアリングは実施していません。
	本件は適正に処理された。	

2. 一般競争入札(政府調達適用外)

平成25年度 三河港防波堤(北)本体及び根固工事	公告から資料提出期限までの7日と短い理由は？	標準日数は10日ですが、予定価格が3億円未満の工事であること、施工計画の提出を求めずに、企業・技術者の能力等の評価により、適切かつ確実に施工上の性能等が確保されることができる工事の場合、期間を7日間に短縮できるとされています。本工事は、ケーソンと根固ブロック製作で難易度が高くないため、上記条件を満たすと判断し、7日間に短縮しました。また、平成25年度補正予算による発注であり、経済対策のため、年度内契約を目指したこともあります。
	入札金額がばらついた理由は何が考えられるか。	推測ですが、今回の工事は新規の防波堤の最初の工事です。直接工事費や共通仮設費の直接経費には大きな差が出ていませんが、内訳を確認したところ、利益に直結する現場管理費、一般管理費の間接経費で差が出ていました。落札した社は、地元根差した企業で、他機関からの受注も多く、現場を熟知しており、現場管理費を低く抑えらえたのではないかと推測されます。落札者以外の社は、現場管理費を通常よりも高めに見積もったのではないかと考えられます。
	1社が取りやめた理由は何が考えられるか。	確認したところ、別件工事を受注したことにより、予定していた技術者が配置できなかったとのことでした。
	入札は2社だったが、応札可能な者想定していたのは何社いたのか。	事前検索では、23社で、入札説明書を入手した社は21社ありました。
	入札参加者が3社と少なかったのは何故か。	入札説明書をダウンロードした企業に確認したところ、要件を満たす技術者が他工事に従事しており、本工事に配置できないため、参加申請しなかったという理由でした。
	本件は適正に処理された。	

3. 一般競争入札(建設コンサルタント業務等)

平成25年度 津松阪港津地区(阿漕浦・御殿場)堤防基本設計	技術評価点において、予定管理技術者の経験および能力で差がついているが、どのような部分で差がついたのか。	受注者の予定管理技術者は、優良技術者表彰を受けており、それにより差が付いております。
	工区をどのような基準・観点で3つに分けたのか。	堤体の安定性には土層構成が大きく影響しており、土層構成および沈下の状況等を勘案し工区を3つに分割しています。
	本件は適正に処理された。	

4. 公募型プロポーザル方式(建設コンサルタント業務等)

平成25年度 名古屋 港新土砂処分場漁業 影響検討業務	参加表明可能社は何社いたのか。	同種が4種、類似が6社いました。
	参加表明が可能な社は10社いるが、2社しか応募してこなかったのはどのように考えているのか。	同種、類似の要件を満たす技術者及び1年間を通して調査に携わることが可能な技術者の確保が困難であったと推測しています。
	落札率98.0%であるが、この数字に対してどのように考えているのか。	入札説明書に「業務量の目安」が記載されており、参加表明社から参考見積書の提出があります。これらから、見積金額は妥当だと判断しています。
	特定テーマに「予測評価」と言うことが書かれているのは、将来、予測評価をすることを踏まえて、現況を把握できるのかという意味でのテーマを設定していると理解してよいか。	そうです。
	評価点に大きな開きがあるが、理由は何故か。	特定した社は、配置予定技術者が、調査の特徴を理解し、十分な知見を有していたため、「基本技術力」「専門技術力」で高い評価となりました。またそれぞれの特定テーマにおいて、説得力があり実現性の高い提案であったため高い評価となりました。
	本件は適正に処理された。	

5. 一般競争入札(役務の提供等及び物品の製造等)

平成25年度 御前崎 港浮棧橋修理	結果的に1社のみ参加であったが、参加が想定される業者は何社いたのか。	「役務の提供等」のうち「船舶整備」のB、C、D等級のいずれかに格付けされ、東海・北陸地域の競争参加資格を有する業者は544社あり、そのうち静岡県内で登録されている業者は18社確認できました。そのうち、自社ドック施設を有している業者は5社でした。
	参加者が1社しかなかった理由は何が考えられるか。	そもそも、この地域で浮棧橋を上下架できる施設を有する業者自体が少ないという実態があります。また、受注者は自社ドックまで浮棧橋を回航して修理することになりますが、積算上、回航費は浮棧橋の係留場所から参加可能な者の中から一番近いドック施設までの費用を計上するため、自社が棧橋の係留場所から遠方になると判断した業者は利益が見込めないため参加表明しづらいと考えられます。その他、自社のドックの空き状況が本件修理時期と合わなかったことも理由として考えられます。

5. 一般競争入札(役務の提供等及び物品の製造等)		
平成25年度 御前崎港浮棧橋修理	落札率が約99%と高いが理由は何が考えられるか。	受注者に参考ヒアリングしたところ、今回、自社の最寄りの港(安良里港)から引船を調達することができなかったため、御前崎港から距離が遠くなる下田港の引船を使用したことから、通常の経路より余分に引き船経費がかかったらしく、この経費分を見積もりに反映したため、入札額が高くなったとの回答でした。
	本来であれば、もう少し安い価格で入札されたと思われるが、発注者側が予定した場所よりも遠い所から引船を使用しても、予定価格内で収まったという理解でよいか。	そうです。
	回航費の積算の考え方はどうなっているのか。	回航費は回航距離により算出し、引船の燃料費、労務費及び損料からなっています。なお、過大積算を避けるため修理する棧橋から一番近いところで積算することとしています。
	回航費の考え方からすると修理対象棧橋に近い業者が有利になってしまうと思うが、過去の受注業者はどのような状況か。	浮棧橋は御前崎港の他に清水港及び下田港にありますが、過去に受注した実績のある業者はA, B, C, Dの4社です。
	本件は適正に処理された。	
6. その他		
	なし	